

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2011
平成23年

9.15

花咲く海岸 潮風の小径!

目次

「しみんの広場」	2
NPO田原しみん震災支援ネット 田原ドライブマップ紹介	
地域の話題 市民活動を応援するページ	
スクールレポート 学校生活の一コマを紹介	6
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- NPO田原しみん震災支援ネット……………2ページ
- 田原ドライブマップ紹介……………3ページ
- 地域の話題(野田校区)……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

投稿

被災地への継続的な支援を

NPO田原しみん震災支援ネット

私たち「NPO田原しみん震災支援ネット」(倉名智彦代表)

は、東日本大震災の被災地・被災者支援のため、市内で活躍するボランティアや市民活動団体を中心となり立ちあげました。これまで被災地へ野菜などを届けており、今回は、ゴーヤや自転車などを届けてきましたのでご紹介します。



ゴーヤと自転車に思いを込めて

私たちは、東北の被災地でボランティアをする仲間から、日本一の田原の野菜が欲しいとの声を聞きました。そこで、4月から7月までに5回、野菜を中心に宮城県仙台市のNGO組織へ届けてきました。今回は、ゴーヤと生活の足となる自転車を送ることになり、準備を始めました。

まず、衣笠にある私たちの農園で、被災地へ送るために育ててきたゴーヤの収穫を園児(加治保育園・中部保育園・漆田保育園・赤石幼稚園)と行いました。衣笠ゴーヤエコトンネルは80mもあり、中にはゴーヤが鈴なり。子どもたちは歓声を上げながら収穫し、「ゴーヤ食べて元気に!」などとメッセージを込めながら箱詰めしました。

自転車は、7月中旬から市民の皆さんに



●丁寧に自転車を修理



●衣笠ゴーヤエコトンネル



☎090-2131-4352

▼問い合わせ先 鈴木裕 (NPOエコウィンドネット)

声をかけ、中古自転車を集めました。そして自転車修理が得意な方にご協力いただき、市のリサイクルプラザで修理しました。8月29日(月)の深夜、ゴーヤや自転車などを物資運搬車に積み込み、仙台市の物資集積所に向かいました。自転車は、現地で大変喜ばれ、翌日には27台全てのもらい手が決まったそうです。集まった自転車は、まだ60台ほどありますので、運搬費用が工面できれば現地に運びたいと思います。

最後に、野菜やお米、運搬車の提供など、多くの市民の皆さんから応援をいただきました。この場をお借りし、心からお礼申し上げます。これからも、野菜などの物資を自転車と一緒に現地に届けていきますので、ご協力をお願いします。



「いいとこ」「いいっぱい」の田原をドライブ

皆さん、こんにちは！私は、インターンシップ生として、田原市役所で5日間仕事を体験しました。帰省する際、海沿いを車でドライブしていると田原に帰って来たなあと実感します。今回は、ドライブするのに最適な「田原ドライブマップ」をご紹介します。

まず、ドライブマップをホームページに掲載している渥美半島観光ビューローにお話を伺いました。

「田原ドライブマップ」には、その名の通りドライブコースや観光スポット、アクセス方法などが掲載されています。おすすめの場所を聞くと、蔵王山からの景色が一番に挙がりました。田原を見渡せるこの場所は、天気の良い日には、日本アルプスや富士山が望め、幻想的な夜景も楽しめます。白谷海岸から江比間海岸沿いの道は、眺望をさえぎるものもなく、これからの季節は、夕日がとてもきれ



▲蔵王山展望台からの夜景



▲江比間海岸からの夕暮れ



▲田原ドライブマップ

HP <http://www.taharakankou.gr.jp/>

▼渥美半島観光ビューロー ☎ 23局3516

ずっと住んでいると、当たり前すぎて気付かないステキな風景や場所が、このマップを見ればわかります。皆さんも、田原をドライブしてみたいかがででしょうか。

絶景ポイントです。緑が浜エコパークや西ノ浜も、たくさん風車を近くで見られるのでおすすめですと教えてくださいました。

いに見える



岐阜聖徳学園大学3年 清田知里さん(中山町出身)

田原のゆるキャラ紹介

●かいくんの仲間 (一部)



「アサリーヌ」だワン♪



拙者、「あさり武士」ござる



あきは、「あさり」んであります



「シェルリ」だルリ!

皆さんは田原にもゆるキャラが誕生したのでご存知でしたか？これは、渥美商工会が貝づくし渥美をPRするために公募したキャラクターで、名前は「かいくん」です。現在は、さまざまなイベントなどで活躍しています。

いろんな所に出かけていくから、みんなと会えるのを楽しみにしているね！ツイッターもやっています！



かいくん



▲華やかに盛り上がった盆踊り大会



▲子どもたちが一生懸命作ったみこし

地域の話

野田校区

人と地域と自然をつなげるまちづくり

「和」「輪」「環」と笑顔で明日を創る、田原のド真ん中「野田校区」。
今年で15回目となる「野田夏まつり」について、
野田校区「コミュニティ協議会からお便りが届きました。」



野田校区では、「和」が平面に広がって「輪」となり、さらに立体的に広がって「環」となって大調和につながり、『わ、わ、わ』と笑い声が絶えない明るく住みよいまちを将来像に、まちづくりを進めています。

今年も大盛り上がり！

8月6日（土）、サンテパルクたはらで「第15回野田夏まつり」を開催しました。当日は天候に恵まれ、とても暑い日となりましたが、老若男女問わず多くの方が参加して、大変にぎやかな祭りになりました。サンテドームをメイン会場に、「盆踊り大会」「子どもみこし」「野田の市」「ビンゴ大会」「手筒花火」「打ち上げ花火」などを催しました。

「盆踊り大会」では、浴衣で素敵な踊りを披露していただいた方や子どもに賞を贈るなどして、華やかに盛り上げることができました。

「子どもみこし」では、13地区の子ども会が4つに分かれ、一生懸命作った自慢のキャラクターをみこしに乗せ、「ワッショイ！ワッショイ！」とドーム内を練り歩きました。「野田の市」では、ボランティアの手による16店舗が立ち並び、大変にぎわいました。今年も、東日本大震災の被災地である福島県から、農家の方が桃の直販に訪れるなど、新たな交流も生まれました。

「手筒花火」では、有志たちの厄払いの願いをのせて、火の粉とともに轟音が野田の夜に響き渡り、観客たちの歓声をあびていました。

自分たちの手で地域づくり

かつての青年団主体の盆踊り大会は、団の解散で開催できなくなりました。そこで、校区行事として、平成9年から「野田夏まつり」を開催しています。地域の担い手となる40〜42歳の男性が実行委員の中心となり、地域の協力を得ながら、4月から準備を進める手作りの祭りです。地域づくりは、行政との連携が必要なこともありますが、人と人とのつながり、人材育成などは地域で率先して行うべきものと思います。

野田校区は、人の結びつきが強い校区と感じています。「野田夏まつり」をはじめとする各種行事により、地域の『わ』がより強く確かなものとなるよう、地域づくりに取り組んでいきたいと思えます。



●手筒花火



市民活動を応援するページ



市民活動紹介

NPO法人 渥美虹の会

親子での自立支援を目指しています

● H23年度田原市民協働まちづくり事業補助金採択事業

「渥美虹の会」は障がい者の自立支援を目的として、親子参加でさまざまな活動を行っています。活動の一つである和太鼓の練習は、「志多ら」の創始者、吉村城太郎先生に教えていただいています。「志多ら」は、東栄町を拠点に活動している全国的にも有名な邦楽集団です。

和太鼓の練習は、言語訓練の一環である「音節」や「順番を待つ」ということを身につけるために始めました。演奏は、リズムに合わせて体を上下させるだけで楽しさが倍増します。仲間同士が視線を合わせて心を通わすと、もっと楽しくなります。練習を始めて20年になりますが、今では公演活動ができるまでになりました。

和太鼓の練習は、毎月第2、4土曜日に行っています。そのほかの活動としては、第1土曜日にももの作りを、第3日曜日には調理実習を行っています。6月、8月、10月、12月、2月には、臨床心理士による個別相談の場も設けています。親子参加の会ですが、兄弟での参加も、ボランティアでの参加もOKです。仲間作りの場として、お気軽にご参加ください。お待ちしております。



▲福祉施設の皆さんに和太鼓演奏を披露しています

活動の概要

【活動場所】渥美文化会館／●和太鼓練習：第2・4土曜日 14:00～16:00

●もの作り：第1土曜日 19:00～22:00／●調理実習：第3日曜日 10:00～16:00

お問い合わせ

代表：北原初代 ☎ & FAX 35局 6284 ☎ 090-9226-1977

イベント情報

市民活動ニュース

→このコーナーに掲載する情報を募集中！頁下段の連絡先まで。

日時	イベント名・内容	会場・費用など	問い合わせ・連絡先
10/7 金 19:00～	あつみロビーコンサート 第47回 三上クニ・トリオ from New York ～ジャジーナイト・イン・アツミ vol.7～	会場：渥美文化会館 多目的ホール&ラウンジ 費用：1000円(フリードリンク)	あつみロビーコンサート事務局 ☎ & FAX 32局 3963 (森下) ※チケットは市内文化会館などで発売中。第48～52回の5回分をセットにした便利でお得なシーズンチケットもあります。
10/30 日 14:00～	あつみロビーコンサート 第48回 野畑さおり・柿原有子・能勢健司 ～ピアノと歌で名曲を～	会場：渥美文化会館 多目的ホール&ラウンジ 費用：500円(ドリンク付)	
10/27 困 10:30～	おやこリズム おやこリズム・手あそび・絵本の読み聞かせ ※毎月第4木曜日に開催(12、3月は第3木曜)	会場：童浦市民館 多目的室 対象：入園前の幼児と保護者 費用：無料(申し込み不要)	くぬぎの会 ☎ & FAX 22局 7530 (石井)
10/8 土・ 10/19 困 10:00～	おもちゃ図書館 ぬくもりのある木のおもちゃなどで、親子と一緒に楽しく遊びます。 ※おもちゃの貸し出し可	会場：田原福祉センター子育て広場 対象：おもちゃで遊びたい親子 費用：無料(申し込み不要)	田原市おもちゃ図書館 お陽さまライブラリー ☎ 22局 9720 (横田)

田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

■ NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週 木・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

■ このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

● お問い合わせ：☎ 22局 1111 (内線 812) ※ 開設時間のみ ☎ 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 38

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での祖父母ふれあい集会和歴史学習の様子、
中学校での緑化活動の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原南部小学校「祖父母ふれあい集会」

ふれあって過ごそう楽しい時間！

田原南部小学校では、七夕の日に祖父母ふれあい集会を行いました。子どもたちは祖父母に楽しいひとときを過ごしてもらおうと、歌や音読、リコーダーの練習をしたり、メッセージ付うちわを作ったりしました。孫からの手作りうちわのプレゼントは大好評。また集会では、一緒に「われは海の子」「ふるさと」を歌ったり、「ジャンケン列車」ゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしました。祖父母の方から「上手だったね」「楽しかったよ」「来年も楽しみにしているよ」などと声をかけられ、子どもたちも大満足でした。



▲笑顔に乗せた「ジャンケン列車」

衣笠小学校「歴史学習」

栄巖歴史公園で地域の歴史を学ぼう



▲栄巖古墳について学ぶ6年生

衣笠小学校では、昨年「魅力ある学校づくりプロジェクト事業」で、校舎南側にある栄巖古墳の生い茂った笹や雑草を取り除き、階段を設置しました。この古墳は、直径約25メートルで、渥美半島でも最大クラスの円墳です。整備後は、子どもたちが遊びに行く姿がよく見られます。5月には6年生が、歴史学習で文化財課の学芸員を講師として招き、栄巖古墳の出土品や実際の石室を間近に見ながら学習しました。小高い丘には芝生が敷かれ、子どもたちが歴史と触れ合う場となっています。

野田中学校「緑化活動」

ゴーヤで省エネ！大きく育った緑のカーテン

野田中学校では、5月に市からゴーヤの苗を10本もらい、昨年度に引き続き、緑のカーテンを作ることになりました。世話をしてきたのは特別支援教室の生徒たちです。花壇の畝作りや苗の植え付け、防風ビニールの設置、水やり、ネットの張り付けなどの世話をしてきました。最も大変だったのはネットの張り付けで、2階のベランダから花壇まで張るのに、風にあおられながら1時間もかかりました。今では、ゴーヤの葉っぱの間から涼しい風が入り、暑さも少し和らいで感じられます。



▲2階まで伸びた緑のカーテン



▲負傷者を倒壊家屋から救出し、搬送する訓練を行う自主防災会の皆さん



▲会場ステージでは、各団体の活動発表などが行われました
(主催●田原市男女共同参画推進懇話会)



▲腹部切開手術の模擬体験。刃のない柄だけのメスでも緊張が伝わってきます

8月27日(土)
地域はひとつ
みんなで防災

総合防災訓練が赤羽根文化広場で実施され、27の関係団体や市民など約1000名が参加しました。「大規模地震と津波災害」が想定されたこの訓練。自主防災会や消防署、警察、自衛隊などが連携し、災害対応の機能を検証する30種類の実践的な訓練が行われました。

8月28日(日)
男女が共に輝ける
まちを目指して

第4回男女共同参画フェスティバルが田原文化会館で開催され、市内外から参加した34の団体や個人が、活動紹介のパネル展示やステージ発表などを行いました。また、映画祭では、自分らしく生きる女性を描いた作品が上映され、来場者の共感を集めました。

8月20日(土)
たはらを支える
名医の誕生!?

渥美病院主催の院内探検ツアーが開催され、市内の小学生16名が参加しました。普段、入ることができない病院内を探検した子どもたちは、各施設で模擬の切開手術や血液検査など盛りだくさんのメニューに挑戦。病院の機能や仕事について理解を深めました。

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●たはら節電ライトダウン2011

田原市では、2006年から、地球温暖化防止のため、ライトアップ施設の消灯を呼びかけるライトダウンキャンペーンを、毎年夏季および冬季に実施しています。

今年の夏は、東日本大震災の影響で節電が必要だったため、これまでよりも期間を延長し、例年の夜のライトダウンに加え、昼のライトダウンの呼びかけも行う「たはら節電ライトダウン2011」を実施しました。市内の多くの事業所などにご参加いただき、大きな成果があげられましたのでご紹介します。



■実施結果

- 期間 71日間(6月22日～8月31日)
 - 参加施設数 87施設
 - 削減電力量 約6万2000kWh (記入があったもののみ合計)
 - CO₂削減量 約4万2000kg
- ※原油に換算すると約1万6500リットルの削減(ドラム缶82本相当)



■主な実施内容

- 休憩時間・就業時間前後の消灯
- 照明の間引き
- 省エネ型電球(LEDなど)への取替



●家庭や職場での省エネの継続を!

「たはら節電ライトダウン2011」のキャンペーン期間は終了しましたが、今後とも家庭や職場で省エネに取り組みましょう。一人ひとりの努力がCO₂削減や地球温暖化防止につながります。

なお、次回のライトダウンキャンペーンは、2月の省エネルギー月間に合わせて実施する予定ですので、ご協力ください。

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数 個人1556人・事業所70か所(8月末現在)

▼エコエネ推進室
☎23局7401 FAX23局0180

RRR Reduce Reuse Recycle

省資源とリサイクル

けいじばん 41

ゴミゴモンとリサイクルレンジャー

皆さんは使用済みの携帯電話や家電用の小型充電式電池をどうしていますか。今回は、希少な資源が使われている小型充電式電池のリサイクルについてお知らせします。



◆どんな家電機器に使われているの?

- 携帯電話、デジタルカメラ、携帯ゲーム機、ビデオカメラ、電動歯ブラシ、シエバー、コードレステレホンなど

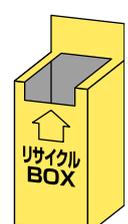
◆どのように見分けるの?

リサイクルできる小型充電式電池には、次のようなリサイクルマークが付いています。

Li-ion リチウムイオン電池	Ni-MH ニッケル水素電池	Ni-Cd ニカド電池
	小型シール鉛蓄電池	
Pb	※ヘッドホンステレオ、ハンディークリーナー、コードレスステレホン、ビデオカメラの4用途に限る	

◆どこで回収しているの?

電気販売店やホームセンターなどにリサイクルボックスが設置されています。黄色いリサイクルボックスが目印です。



※市では回収していません

リサイクルボックスに電池を入れる際には次の点に注意

- ショートし、発熱・発火する恐れがあるので、必ず金属端子部をテープなどで絶縁する
- 乾電池など他の電池を混ぜない

●小型充電式電池のリサイクルに関するお問い合わせ

▼一般社団法人JBRRC
TEL(03)64005607
HP <http://www.jbrcc.com>

リサイクルにご協力ください!



▼清掃管理課
☎23局3538 FAX23局0180

交 流 通 信

【国内外との交流・多文化共生】

姉妹都市 設楽町とサッカー交流

設楽町で行われたサッカー交流の様子をご紹介します。

●スポーツを通じて交流を深める

8月28日(日)、設楽町の「豊邦交流センター」などで、田原市中部スポーツ少年団の児童12名と設楽町の児童21名による親善試合などが行われました。この催しは、姉妹都市である設楽町の魅力を知るとともに、設楽町の住民の方とふれあい、**▲サッカーを楽しむ子どもたち** 友好を深めることを目的に開催されたものです。



子どもたちは、最初は緊張していたものの、いっしょに汗を流すと、すぐに打ち解けて笑顔を見せていました。

●交流センターとは？

今回の交流の会場となった交流センター。この施設は、豊川上下流域の相互理解と住民同士の交流を図ることを目的に、廃校になった設楽町の2つの小学校



▲三都橋交流センター



▲豊邦交流センター

(三都橋・豊邦)を田原市が借り受け、交流拠点として活用しているものです。

●利用方法は？

対象：田原市民 ※営利目的での利用は不可

利用方法：キャンプ、バーベキュー、スポーツなど

料金：無料(電気、水道などの使用料も無料)

申し込み：事前に各交流センター会長へ電話(午後8時まで)予約、利用日当日に現地で申込書を記入

申し込み先	電話番号
三都橋交流センター 会長 原井 正さん	☎(0536)64局5264
豊邦交流センター 会長 丸山正勝さん	☎(0536)64局5499

※詳しい利用方法などはご相談ください。

▶政策推進課 ☎23局3507

(親機・子機)からお知らせします。

各施設の館内放送や受信装置

◆どうやって知らされるの？

施設114か所です。

センター(児童館含む)など公共

センター、各小中学校・保育園・

市民館・文化会館・図書館、児童

市役所、渥美支所、赤羽根市民

◆どこに設置してあるの？

数十秒前にお知らせするものです。

測し、大きな揺れが始まる数秒

前に基づき、震度や到達時間を予

を予測します。そ



◆緊急地震速報とは？

設置しています。

に「緊急地震速報」の受信装置を

設置してあります。

に「緊急地震速報」の受信装置を

けんちゃん 防災知恵袋

緊急地震速報

5

みんなで取り組む防災・減災



例
地震、震度4、15秒後、
ビービー(警報音)、10、9、8...1。

※震度3以上の揺れが予想される場合のみ放送されます。必ずしも10秒以上の余裕があるとは限りません。

◆知ったらどうすればいいの？

速報から強い揺れが来るまで、わずかな時間しかありません。自分の身を守ることを第一に考え、落ち着いて行動してください。

◆公共施設以外で知る方法は？

テレビやラジオなどでも放送されます。また、デパートなど集客施設での館内放送や携帯電話会社の配信サービスなどもあります。

◆緊急地震速報には限界があります

震源が近い場合、速報が間に合わないことがあります。また、実際の震度や揺れるまでの予測時間に誤差が生じることがあります。速報が発表されず、地震が発生することもあります。

▼防災対策課 ☎23局3548

		おしらせ		
		INFORMATION		

WANTED

募集

田原福祉専門学校 学生



田原福祉専門学校では、平成24年度の推薦および一般・社会人入学試験を行います。

▼試験種別①推薦・社会人入学試験 ②一般・社会人入学試験 ▼試験日①10月22日(土) ②11月5日(土)

▼出願期間①10月1日(土)～13日(木) ②10月11日(火)～27日(木) ▼試験内容＝推薦は面接、一

般・社会人は作文と面接 ▼申し込み＝入学検定料1万5000円を振り込みのうえ、田原福祉専門学校にある所定の出願書類に必要事項を記入し、出願期間内に提出(郵送の場合は当日消印有効) ▼その他＝入学試験は、10月から平成24年3月まで毎月実施します。詳しくは直接お問い合わせください。

▼田原福祉専門学校
☎22局3939 FAX22局7340

初級ハングル教室 受講者

▼対象＝中学2年生(一般) ▼開催日＝10月15日(土)～11月26日(土)の毎週土曜日(全6回) ※10月29日(土)を除く ▼場所＝田原文化会館201会議室 ▼時間＝午後7時30分～9時 ▼定員＝20名(先着順)

▼受講料＝無料 ▼講師＝ベク・スンミン氏 ▼申し込み＝10月3日(月)から電話・FAX・Eメール・はがきにて(FAX・Eメール・はがきの場合には郵便番号・住所・氏名・電話番号、学生の場合は学校名と学年も明記)

▼生涯学習課
☎441-3492 住所不要

☎23局3531 FAX22局3811
✉syogaku@city.taharaaich.jp

安全で快適なカーライフのために マイカー点検教室 参加者



▼日時＝10月21日(金) 午後1時～3時 ▼場所＝道の駅田原めつくんはうす ▼内容＝定期点検についての講話や点検などの実習 ▼定員＝200名(先着順) ▼参加料＝無料 ▼申し込み＝電話またはFAXにて(FAXの場合は地区名・氏名を明記) ▼その他＝動きやすい服装でお越しください。参加者には、マイカーハンドブックや粗品などを差し上げます。

▼渥美自動車組合
☎22局0746 FAX22局4823

法務局市民講座 受講者

市民の皆さんに身近な法律問題の情報を提供し、法務局の仕事について理解していただくことを目的に、法務局市民講座を開催します。

▼内容／日時＝遺言／10月12日(水) 午後2時～4時、成年後見制度／10月13日(木) 午後1時30分～3時、相続／10月13日(木) 午後3時～4時30分

☎22局3939 FAX22局7340

分 ▼場所＝名古屋法務局豊橋支局6階会議室 ▼定員＝各60名(先着順) ▼受講料＝無料 ▼申し込み＝各講座の開催日前日までに電話にて ▼名古屋法務局豊橋支局総務課
☎(0532)54局9278

田原福祉専門学校学園祭 『たつぷく祭』

今年「わく和・話・輪」をテーマに、学生たちが企画した盛りだくさんのイベントを開催します。皆さん、ぜひお越しください。

▼対象＝一般 ▼日時＝10月14日(金) 午前10時～午後4時、10月15日(土) 午前9時～午後3時 ▼場所＝田原福祉専門学校 ▼内容＝お茶席や模擬店、手浴体験、ゲームなど ▼参加料＝無料

▼田原福祉専門学校
☎22局3939 FAX22局7340





LIFE

生活

秋の行政相談週間
10月17日(月)～23日(日)

「行政相談」

は、国や県、市町村などの仕事について、皆さんから苦情や意見・要望などを伺い、その解決を図る制度です。



市では、「行政相談所の開設」「心配ごと相談」を同時に実施します。年金・保険・税金・登記・環境衛生・消費者保護・交通安全・道路・窓口サービスなどについて、苦情や意見・要望がありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守します。

◆心配ごと相談

▼開催日／場所 ①10月5日(水)／田原福祉センター ②10月12日(水)／赤羽根福祉センター ③10月18日(火)／あつみライフランド
▼時間 ①②午後1時～4時
※この他の日程でも、行政相談員などによる心配ごと相談を行っています。日程は、田原市社会福祉協

議会ホームページまたは福祉だよりをご覧ください。

行政相談員

- 松井克志さん(神戸町)
 - 中村都祁子さん(赤羽根町)
 - 井本親吾さん(伊川津町)
- ▼総務課

☎ 23局3506 FAX 23局0180

▼田原市社会福祉協議会

☎ 23局0610 FAX 23局3970

HP <http://tahara-shakyo.or.jp/sinpai/soudan.htm>

「健康づくりリーダー」があなたの健康づくりをサポート

「運動を始めた」「楽しそうな体操なら続けられるかな」「手芸やコーラスなど、運動以外のグループ活動に体を運かすことを取り入れたい」など運動習慣づくりでお悩みではありませんか。「健康づくりリーダー」が、地域の行事やイベントに出向き、ストレッチやウォーキング、太極拳、健康体操などの運動指導を行います。健康づくりのサポートを希望される方は、お気軽にお問い合わせください。



健康づくりリーダーとは

愛知県が開催する健康づくりを学ぶ研修会に参加し登録された方々のことで、田原市には14名の方がいます。楽しく、無理なく、心地よい指導をモットーに活動しています。

▼健康課

☎ 23局3515 FAX 23局3810

第5回危険物取扱者試験

▼種類 甲種・乙種全類・丙種

▼対象 一般 ▼日時 11月27日(日) ▼場所 名古屋市内 ▼申し込み ①10月3日(月)以降に市役

所消防課または消防署・各分署で配布される受験願書に必要事項を記入のうえ、10月17日(月)～10月26日(水)の期間に郵送 ②10月14日(金)午前9時～10月23日(日)午後5時の期間に財団法人消防試験研究センターホームページにて電子申請 ▼その他 テキストおよび事前講習会については、お問い合わせください。



●財団法人消防試験研究センターホームページ

HP <http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

▼消防課

☎ 23局4074 FAX 23局0180

秋の安全なまちづくり県民運動
10月11日(火)～20日(木)

この運動は、地域の皆さんと防犯協会や警察が協力し、身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を行うものです。10月11日は、防犯に対する意識と理解を深める「安心・安全なまちづくりの日」と制定されています。地域ぐるみの防犯活動で、安心して暮らせるまちづくりをめざしましょう。

運動の重点

- ・子どもと女性の犯罪被害防止
- ・住宅を対象とした侵入犯罪の防止
- ・万引き、自転車盗の防止
- ・自動車盗の防止
- ・暴力追放運動の推進

年間取組事項

- ・振り込め詐欺の被害防止
- ▼市民協働課

☎ 23局3504 FAX 23局0180

サンテパークたはら 臨時休園のお知らせ

●臨時休園日 = 9/30 金

※ただし、9/29 木は開園しますので、ぜひお越しください。

▶サンテパークたはら
☎ 25局1234

歴史探訪

クラブ! 其の126

History Inquiry Club

文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

まぼろしの伊良湖自然科学博物館

渥美半島の観光が最も活気づいていたころの昭和45年7月16日。伊良湖畔に伊良湖港湾観光センターが開館しました。盛んになった観光や、海の玄関口としての伊良湖の機能を高めるためで、公共性の高さから愛知県、渥美町、名古屋鉄道の官民合同で造られたものです。この年の3月から9月には大阪万博（日本万国博覧会）が開かれていて、この会期中に開館を合わせたといえます。渥美半島だけでなく、日本国中が活気



●伊良湖自然科学博物館の様子

に溢れていたときです。施設は、二階建て鉄筋コンクリート造りで、中には海陸交通ターミナル事務所、待合室、食堂、売店がありました。二階には、「伊良湖ビジターセンター」（伊良湖自然科学博物館）があり、伊良湖を訪れる人たちに三河湾国定公園の自然、産業、文化、さらに伊勢湾の未来像を解説する施設として、位置づけられていました。ここまでなら、観光施設に付属する普通の博物館ですが、この博物館はその内容がすごい！渥美半島に生きた人々の歴史・民俗、そしてそれを育んだ自然、さらに渥美半島の産業、交通にいたるまで全てを網羅した内容でした。豊富な展示資料と、

十分に調べられた解説、また模型によって質の高い展示となっていました。ここにくれば、渥美半島の全てがわかったといっても言い過ぎではないでしょう。

このような広い視野でひとつの地域を紹介したスケールの大きな博物館は東海地方にはありませんでしたし、おそらく今でもないでしょう。地道な調査、研究活動も続けられ、夏休みなどには展覧会や講座が催されました。縄文、弥生、古墳、東大寺瓦、船の歴史などの展覧会には、観光客ばかりでなく地域の人も多く訪れました。その調査研究、展示の成果を掲載した『伊良湖』は、ほぼ毎年刊行されていました。また、敷地内には発掘された鬼墮^{きおとし}2号墳（若見町）の移設も行われ、現在の史跡の整備に先行する画期的な事業でした。

この博物館の素晴らしさは、過去と現在、そして未来が展示されていたことです。ここに行けば、

自分が住むふるさとのワクワク感やドキドキ感、夢を体感でき、観光客はこの地域の素晴らしさに憧れを抱いたに違いありません。展示は今の博物館施設に比べると洗練されていませんでしたが、そんなことを一笑できる資料の質、そして携わった人たちの熱意がこの博物館の持つ力だったといえます。

平成6年、これらの施設は新しく建て替えられ「伊良湖クリスタルポルト」となりました。平成6年に幕を閉じた伊良湖自然科学博物館ですが、もう一度、渥美半島の未来を担う子どもたちに、あの個性豊かな博物館を見せてあげたいと願うのは私だけでしょうか。

（増山）

今月の「表紙」

▼秋の訪れとともに、海辺をオレンジ色に彩るハマカンゾウ。日出園地は、幕末に異国船対策のため、大垣新田藩が砲台を設置した場所、現在でもその名残を見ることが出来ます。この砲台跡から、がけ下を見下ろせば、岩場から生えるハマカンゾウの群生が。私がいつかカメラに収めたい風景です。(○)

【表紙の写真】日出園地のハマカンゾウ